



九州大学経済学府と中国人民大学経済学院との共同教育（ダブルディグリー）プログラムの調印について

概要

九州大学大学院経済学府は、中国人民大学経済学院との間で、共同教育プログラムの調印式を9月5日（金）に中国人民大学において実施します。本プログラムは、大学院修士課程におけるダブルディグリープログラムを2009年度から実施するもので、参加する学生は、両大学大学院に通算3年間在籍することにより、両大学から学位（修士号）を取得することが可能となります。九州大学がダブルディグリープログラムを実施するのは、本プログラムが初めてとなります。また、経済学分野の大学院におけるダブルディグリープログラムとしては、日本の大学で、きわめて先駆的な試みとなります。

背景

九州大学経済学部は、1985年に中国人民大学経済学院との間で学術交流協定を締結し、国際シンポジウム等を含む学術交流を行っており、また学生の相互派遣（大学院正規課程への留学）も実施してきました。2004年には九州大学と中国人民大学の大学レベルでの学術交流協定を締結しました。

2006年には、九州大学は中国人民大学、清華大学、北京大学などにほど近く、IT産業や研究所も集積し、「中国のシリコンバレー」とも呼ばれる、北京市中関村エリアに「九州大学北京事務所」を設立し、中国の大学との交流拡大に力を入れてきました。

2007年3月には、中国人民大学・紀宝成学長が九州大学を訪問し、本学経済学府とのダブルディグリー実現に向けて検討することを合意しました。

その後、両大学の間で協議を重ね、2008年6月に覚書きを作成、合意に至り、今回の調印式を迎えることとなりました。

内容

【ダブルディグリーのための在籍期間】

- ・中国人民大学経済学院（修士課程）の学生は、中国で1年間勉強した後、日本で1年間、さらに中国へ帰国し1年間、の両大学合計3年間在籍することにより、両大学から学位（修士号）を取得することが可能となります。
- ・九州大学大学院経済学府（修士課程）の学生は、日本で半年間勉強した後、中国で1年半、さらに、帰国後、1年間の両大学合計3年間在籍することにより、両大学から学位（修士号）を取得することが可能となります。（あるいは、日本半年間＋中国1年間＋日本1年半の合計3年間になることもあります。）

【言語】

- ・両大学での多くの授業は当該国の言語で行われるため、プログラム学生は、当該言語について一定レベル以上の言語能力を必要とします。（選考時、日本人学生は漢語水平考試5級以上、中国人学生は、日本語能力試験3級以上あるいは実用日本語検定試験のC級以上が必要です。）

【授業料】

- ・本プログラムにより派遣される学生の授業料は相互に不徴収とします。

効果

本プログラムにおいては、単に二つの国の大学の学位（修士号）を取得するというだけでなく、中国と日本という異なる文化圏で高等教育を受けることによって、東アジアを中心とする国際舞台で活躍できる高度な能力を備えた人材を育成することを目指しています。この取組みの背景には、近年、東アジア諸国、特に中国の経済成長並びに日本との経済関係の緊密化により、日中間における貿易取引、人的交流、情報交換が飛躍的に拡大しており、両国を中心とする経済事情に通じた高度な専門能力・コミュニケーション能力を備えた人材の育成が、企業、自治体、学界において求められている事情があります。

また、本プログラムは、中国を始めとする東アジア諸国と日本との経済交流の活発化にもかかわらず、取組みが遅れていた経済学分野における高度な能力を具えた人材育成のニーズに応えるものです。そのために、このプログラムでは、経済学の高度専門能力に加えて、アジア言語に係る国際コミュニケーション能力、人的コネクションを兼ね具えた人材を育成することを目指します。国際プログラムの構築に当たっては、中国人民大学との長年の交流実績を活かすと同時に、九州大学大学院経済学府の経済学科目のほか、九州大学の英語教育・国際関連科目を活用することによって、人材育成ニーズに応えることが最大の課題となります。

本プログラムに参加する学生は、専門的能力のほか、語学力、コミュニケーション能力、人的コネクション等、多様な付加価値を得ることによって国際舞台での活動の基礎が形成されます。また、中国及び東アジアの大学・研究機関とのネットワークの拠点を構築することにより九州大学大学院経済学府の知的基盤、教育基盤としての機能を一層拡充していくことが期待されます。

■今後の展開

本プログラムは、2009年度から開始しますが、その後、博士課程への拡大を図り、アジアおよび世界の有力大学との間においても展開しうる多層・マルチ型の国際教育連携プログラムに発展させていくための検討も行う予定です。これにより、アジアの優秀な学生を惹きつけている米国型高等教育に対抗しうる、アジア版高等教育プログラムを開発する先導役としての九州大学の役割を展望することができると考えています。

【お問い合わせ】

貝塚地区事務部学生第四係

電話：092-642-2439

FAX：092-642-7098